



News Letter

No. 29

2008年8月10日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

潮目を変えるのはわたしたち 今秋「ユニオン Yes!」の大きな波を

6月8日に起きた秋葉原事件は、現代日本において衝撃的だった。その背景にあった残酷な派遣労働システム。人間がモノのように扱われ、簡単にクビを切られ、代替はいくらでもいるといわれ、低賃金で過酷な長時間労働をやらされる。その日々の中で、絶望を感じて、徐々に壊れていってしまった加藤容疑者。秋葉原事件は、壊れていくニッポンの象徴のように見える。

最近、労働運動のなかで「潮目が変わった」という言葉をよく聞く。追い詰められるばかりだった労働者側からの反撃の動きが、おぼろげながら見えはじめているからだ。潮目を本当に変えられるのか、絶

望の時代がまだまだ続くのかは、私たち一人ひとりの活動にかかっているのだろう。

レイバーネットは、今秋さまざまなイベントを通して「ユニオン Yes!」を世の中に大胆に訴えていく。9月20日には「レイバー映画祭2008」、そして10月には、レイバーネットから生まれた映画「フツの仕事がしたい」の劇場公開が東京・横浜で行われる。また、MediR講座・レイバーフェスタ(大阪12/14・東京12/20)もある。今年の秋は、昨年の運動を一回りも二回りも上げた「大きな波」を起こそうではないか。絶望ではなく、希望に向けて走りだそう。(レイバーネット副代表・松原明)

レイバー映画祭2008

「蟹工船」「私たちは風の中に立つ」など豪華ラインナップ

昨年に引き続き、ことしも9月に「レイバー映画祭2008」を行う。メインの映画は「私たちは風の中に立つ～韓国・東一紡織労組1972～2006」。この作品は、韓国女性労働運動の感動的なドキュメンタリーであるだけでなく、韓国大衆運動がもつ戦闘的エネルギーの源流を描いている。首都圏では今回初めての上映である。このほか、話題の「蟹工船」や鉄道民営化をテーマにした「今夜、列車は走る」「人らしく生きよう」など、豪華ラインナップ。いまの世の中、どうすればもっと良く生きられる? こたえを見つけるレイバー映画祭2008に集まろう。



映画「今夜、列車は走る」より

プログラム紹介

9月20日(土) 全水道会館ホール(東京・水道橋)

<第一部 時代をこえて>

10.30 「蟹工船」 山村聡 1953年 109分

戦前の蟹工船は海のタコ部屋といわれた。全国が

レイバーネット日本 8月例会 & ピアパーティ

G8の運動から見えてきたもの～「フェンス」も上映

洞爺湖のG8サミットは終わった。民衆側からは「14%の国で世界を決めるな!」と反対運動や提言活動が行われた。とくに目立ったのが、過剰警備・不当逮捕・入国拒否などの異常な日本の人権後進国ぶりだった。8月の例会では、G8メディアネットワークの中心メンバーである白石草さんをゲストに、「G8の運動から見えてきたもの」を一緒に考えたい。当日上映する「フェンス」(ドイツ作品)は、07年のハイリゲンダムサミットの記録。なお、この例会はピアパーティを兼ねており、ざっくばらんな意見交換・会員交流も行いたい。ぜひ、お気軽にご参加ください。

とき 2008年8月17日(日) 14時～17時

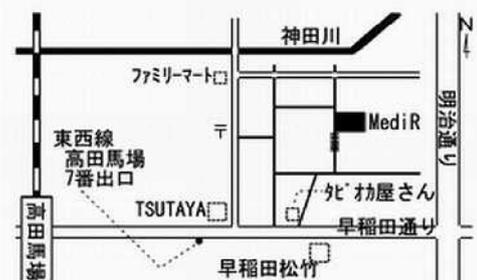
ところ 高田馬場メディアール (MediR)

03-6382-9646

ゲスト 白石草
(G8メディアネットワーク)

参加費 実費(1品もちより歓迎)

主催
レイバーネット
日本



インフォメーション

らかき集められた労働者は、極度のドレイ労働に耐えかね、ついに立ち上がった。解説 = 松本昌次

< 第二部 鉄道民営化は何をもたらしたか >

13.15 「今夜、列車は走る」 アルゼンチン ニコラス・トゥオッツォ 2004年 110分

アルゼンチンの小さな鉄道の町。ここにも民営化の波が押し寄せ、ある日突然、路線の廃止が通達される。路頭に迷う5組の鉄道員の家族を追った劇映画。

15.25 「人らしく生きよう - 国労冬物語」 ビデオプレス 2001年 100分

現代リストラの原点といわれる国鉄分割民営化。仕事を奪われた鉄道員・家族は、15年にわたって苦難のたたかいを続けた。全国300ヶ所・海外7ヶ国に上映が広がった話題作。

< 第三部 短編セレクション >

17.25 「すべて消える」 仏・ジャン＝マルク・ムトゥ 1996年 15分

「2008年シカゴのメーデー」 米国・レイバービーツ 2008年 15分

「レイバー新作3分ビデオ」(お楽しみびっくり企画) 10分

< 第四部 韓国労働運動の息吹 >

18.30 「私たちは風の中に立つ - トニイル紡織労組のたたかい」 韓国 女性映像集団 WOM 2006年 105分

「女工」と蔑まれた女性たちがついに立ち上がる。御用組合幹部による糞尿攻撃にもたえ、守り抜いた志。このドキュメンタリーは、30余年の韓国民主体運動の歴史をも照らし出す。

20.30 閉会

一般：1500円 前売：1200円

レイバーネット日本

TEL03-3530-8590 labor-staff@labornet.jp.org

「君が代不起立・続編」

9月4日に完成試写会

石原都教委による「日の丸・君が代」強制に抵抗する教員たちをテーマにした「君が代不起立」の続編(タイトル未定・70分)が8月中旬に完成し、大阪で8/30、東京で9/4に初上映されることになった。「続編」は、都庁を揺るがした2008年2～3月の根津公子さんと支援者の「解雇阻止」のたたかいを軸にしている。マスコミが無視した都庁の攻防。しかしそこには「民主主義を取り戻そう」とする新しい運動の芽が生まれていた。9/4は19時より中野ゼロ視聴覚ホール。

詳細 ビデオプレス TEL03-3530-8588

市民メディアセンター MediR が

10月から本格始動

6月に仮スタートした市民メディアセンターMediR(メディアール・高田馬場)が、10月より講座数を大幅に増やして本格始動する。NPO法人も申請中だ。レイバーネットでは「メディアアクティビスト育成の場」として6月から全面協力をしてきたが、10月からの講座でも講師の派遣や企画提案を含め、関係を強めている。レイバーネット講師関連では、「3分ビデオ入門」(松原明)映画を通して社会を考える(木下昌明)「インターネットの活用法」(安田幸弘)「フツの仕事がしたい・労働講座」(土屋トカチ)「インターネット新聞」(森広泰平)などが予定されている。現在、受講生を募集中だ。03-6382-9646

レイバーネットの中で育った映画

「フツの仕事がしたい」が東京・横浜で劇場公開

土屋トカチ

レイバーフェスタ2006、昨年のレイバー映画祭等で上映していただいたドキュメンタリー映画「フツの仕事がしたい」(労働者は奴隷か!～住友大阪残酷物語を改題)が、首都圏の劇場にて公開されることになりました。東京・東中野のポレポレ東中野と、横浜・黄金町のジャック&ベティの2つの劇場において、2008年10月から上映されます。映画「フツの仕事がしたい」は、レイバーネット日本に育てていただいた作品です。当初は、ビデオ制作の依頼していただいた全日本建設運輸連帯労組の組織内上映を目的とした作品でしたが、反響の大きさに押され、長編映画にまで完成させることができました。また、去る6月4日付の毎日新聞夕刊において、「現代版・蟹工船」という見出しで紹介されるという機運も重なり、劇場公開へとつながったのです。心から感謝致します。

劇場公開記念企画としまして、上映資金不足を補うカンパをしていただくと、もれなく御名前をエンドロールに挿入させていただくサービス(8月20日

まで延長決定!)や、ワーキングブア割引、労働相談案内など、楽しく役立つ企画を考えています。

とはいえ、劇場で上映される期間は、2週間というのが平均的。見逃してしまったら、作品は埋もれゆく運命です。そうさせないためにも、全国の学校や職場、野外上映イベント等が出来ればと思っていますので、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

詳細は、フツの仕事がしたい公式ブログ <http://nomalabor.exblog.jp/>

お問い合わせ: tsuchiya_to@hotmail.co.jp
050-3744-9745 グループ・ローポジション



レイバーネット国際部 ~ 試行錯誤の中で 海外発信の態勢ととのえる

高幣 真公

2001年はじめにレイバーネット日本が発足した。当時から英語でのニュース発信の重要性が話され、1年前後して国際部を作り、英語ニュース「FROM JAPAN from Japan」がスタートした。そこで私は国際部の部長に就任した。

国際部は6、7人登録されたが、実際翻訳を担当したのは岩川さんともう一人くらいで、1年余りで滞りストップしてしまった。海外の会議やイベントに参加したメンバーから英語でのニュース発信の必要性が何度も指摘されたが、継続的に翻訳を担うスタッフがおらず、再開はならなかった。

私の所属していたAPWSLは、基金団体の財政支援を失って開店休業に陥ろうとしていた。2004年1月の世界社会フォーラム(ムンバイ)に並行して開かれたAPWSLの会議で、インターネットを使った情報交換のネットワークとして継続していこうと日本から提案した。その会議にレイバーネット日本から河添誠さんと安田幸弘さんもオブザーバーとして参加した。会議では日本からの提案が参加メンバーから支持され、その後2005年のマレーシアで開かれたAPWSL総会でもAPWSLの国際ML(担当・日本)とWEBサイト(担当・韓国)開設が決定した。WEBサイト「レイバーネット・アジア」が実際に開設されたのは2006年12月であった。

「レイバーネット・アジア」は共通語は英語であるが、ほかにAPWSL加盟の15カ国余りのページがあり、それぞれの言語でニュース等を発信できる非常に高度なWEBサイトであった。日本からは翻訳チームがまだ機能せず、2007年7月まで約1年半も英語のニュースを発信できなかった。

しかし昨年7月、ついに向井真澄さんが念願の継続的な翻訳を引き受けてくれて、ようやく毎月10本づつの英語ニュースを発信できることになった。WEBサイトは旧来のレイバーネット日本の「FROM JAPAN



レイバーネット・アジアのトップページ
<http://www.laborasia.net>

パン」ではなくて、レイバーネット・アジアのサイトであった。そして、翻訳を再開して間もなく松元千枝さんが翻訳陣に加わり、各翻訳者は毎月5本づつの担当となった。

翻訳に加えて、向井さんはレイバーネット専用の用語辞書を作ろうというプランを持っていた。翻訳者が共同で辞書を作っていくシステムの構築に時間がかかったが、ようやく3ヶ月くらい前から辞書登録を始めた。まだ公表していないが、日本語の労働運動用語や政治用語、組合や機関名などよく使う用語の英語辞書を皆で利用し、作るシステムをもうすぐ公開できるだろう。

2年目に入る7月から翻訳陣にユン・ショーミさんという日本で生まれ、ニュージーランドで育った若い女性が加わった。また、海外記事の日本語紹介の計画も提案されている。2年目に入りさらなる前進を図りたい。(レイバーネット国際部)

韓国シチズン精密労組を応援しよう！

韓国シチズン精密労組がシチズン本社に話し合いを求めて来日し、すでに2ヶ月になる。6月20日の東京総行動、25日の株主総会での要請行動、そして何回かの本社前行動を行ってきた。7月16日には「韓国シチズン精密労組を応援する会」(共同代表:藤崎良三、渡辺一夫、田宮高紀、柚木康子、事務局長:鳥井一平)が結成された。

韓国シチズン精密は、1988年から韓国の慶尚南道昌原市で「Made In Japan」の腕時計を生産してきた。しかし本年4月、日本のシチズン取締役会議で、韓国シチズン精密の株式全88万株を、韓国の高麗TTRという靴のメーカーに売却することが決められ、組合に対して一方的に通告された。会社と労働組合の間には、売却等に関して2つの労働協約がある。1つは上部団体である全国金属労働組合が2007年に会社と結んだ産別中央協約で、「分割、合併、売却および分社するときは、70日前に組合に通知し、組合

員の雇用安定・労働条件に関連した事項は組合と合意しておこなう」となっている。またもう1つはシチズン精密の事業場団体協約で「会社は90日前に組合に通知し、事前に組合と合意する」となっている。会社の売却はこれらの協約に違反している。

本社であるシチズンホールディングス株式会社は、「すでに売却した」「関係ない」と団体交渉を拒絶している。本社前には蛇腹のフェンスが設置され、道路の向かい側の歩道には黄色いチェーンがはられた。韓国シチズン精密労組は、どしゃぶりの雨にうたれたり、かんかん照りの陽射しのなかでも、力強く日本語でシュプレヒコールを行ったり、労働歌を歌ったりして抗議行動を行っている。

グローバル企業の無責任な撤収を許してはならない。シチズン本社を労働組合との団体交渉に応じさせよう。韓国シチズン精密労組を応援しよう！

(応援する会 尾澤邦子)

新入会員紹介

社会勉強をさせてください 村上 勝三

7月からレイバーネットの会員になりました。今のところ社会勉強をさせていただいているばかりです。大変有り難く存じます。現代社会について否定的な気持ちが強いのですが、多くの方が頑張っておられるのを知ることができ心強く思いました。

日本に生まれたものは人を人として尊重することがへたで、尊重する仕方を身につけなければならない。利己主義と個人主義は違う。利己主義的に振る舞えば、弱いものが苦しむのは当然。正義は弱いものの側にある。考え方から変えなければならない。こんなふうに思っております。デカルト哲学を研究しております。

官製ワーキングプアの実態を伝えたい K・N

官製ワーキングプアのなかでも、都の臨時職員の状況は悲惨です。8時間労働で日給6350円、交通費なし。2ヶ月のみの雇用で、2ヶ月ごとに部署を移動しなくてはなりません。しかも6ヶ月働くと、1ヶ月休まなくてははいけません。職場内差別も激しく、私たちには名前がありません。バイトと呼ばれます。特に私のいる職場は非常勤職員による臨職の酷使が酷いです。彼女らは女性問題のエキスパートのはずなのに、差別が何であるのかまったくわかってません。最低です。

メディアのフリーの働き方を研究 林 香里

私は、大学でマスメディア・ジャーナリズム研究をしています。いま、もっとも関心を寄せているのは、メディアの世界のフリーの方たちの働き方の問題です。マスメディアの世界は、フリーの方たちの仕事なしには成り立ちませんが、マスメディア企業の正社員に比べてとても不安定な条件で働いています。先日、ドイツ、ベルリンのジャーナリスト組合を訪問しましたが、組合員の半数がフリーとのこと。フリーの処遇は、世界中で問題になっています。問題はいろいろと複雑ですが、もし、関心がある方はぜひご連絡ください。hayashik@iii.u-tokyo.ac.jp

ラテンアメリカにはまっています 一井 不二夫

はじめまして。郵政労働者ユニオンの一井(ハンドルネーム=ウラ)です。1994年にチリのカトリカ大学に、外国人向け短期の語学留学をして以来、ラテンアメリカにはまったのです。このかん訪れた国は10回で、メキシコ、グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラス、ニカラグア、コスタリカ、パナマ、ドミニカ共和国、キューバ、プエルトリコ、ベネズエラ、コロンビア、エクアドル、ペルー、ボリビア、ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、パラグアイ、チリに行きました。このうちメキシコが一番多いです。

ラテンアメリカはネオリベリズムとの闘い、その結果としての左翼政権の拡がり、「21世紀の社会主義」の実験場となっています。しかし日本にはほとんどニュースすら報道されていません。わたしのブログは現在、ラテンアメリカの政治・経済の基本的な部分を紹介しています。http://ameblo.jp/guevaristajapones/

労働組合が復権するとき 阿部 利弘

(全自交吾妻分会委員長)

私たちは全自交吾妻分会という、東北は福島県福島市の「吾妻自動車交通株式会社」タクシー運転手の労働組合で、現在23名の組合員が所属しております。

私たちは、経営不振による会社解散を理由として2007年3月31日付けにて同社を全員解雇されました。しかし、同社は同族の100%子会社に、営業のすべてを承継して営業を継続し、組合員以外の希望する労働者全員を再雇用したのです。私たちは、福島県労働委員会に、労働組合潰し目的の偽装解散として不当労働行為救済申立を行いました。本年5月30日、福島県労委では実に30年ぶりといわれる解雇撤回組合全面勝利命令を勝ち取りました。

会社、下田一族は、6月12日中央労働委員会に再審査申立を行い、悪あがきをしております。

世の中は、資本のみが自由を増し、労働者は個別紛争として処理され、人権も尊厳もどこかへおいやられてしまっています。今こそ、憲法28条の団結権を駆使して、労働組合を復権する時期だと思えます。吾妻争議へのご支援、ご注目宜しくお願い致します。

http://blog.livedoor.jp/aduma001/

本



労働組合の教科書「なぜ富と貧困は広がるのか」「格差・貧困」が大きな問題となっている昨今。「なぜ今の社会はこうなっているのか」「このような状況の中、どのようにしていけばいいのか」、こうした疑問に答えるべく、ついに書籍として「なぜ富と貧困は広がるのか」が完成した。資本主義社会の仕組みとたたかいの方向をわかりやすく解いた「労働組合の教科書」といえる。著者の後藤道夫・木下武男両教授は「ワーキングプア」や格差社会研究の第一人者。レイバーネットで取り扱い中。旬報社刊・1400円。

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 357 名

ウェブアクセス 1 日 1500

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000 円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
 郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403
 レイバーネット日本事務局
 入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
 電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578